



学校教育目標 私は変わる みんなと変わる 未来を変える
～あったかランド 神岡笑楽校～

今日は、台風襲来の日です。

(9月26日は、過去に大型台風が多く襲来した日で、警戒を呼びかける意味を込めて制定されました。)

神岡小学校 コラボ・スクール通信

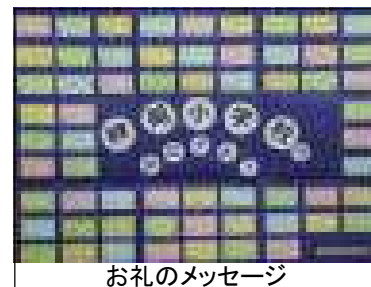
【No.23】令和5.9.26(火)発行

コラボ・スクールは「連携・協働する学校」を意味する造語です

〇〇〇〇〇〇小学部の皆さんから 被災地支援うちわへのお礼のメッセージが届きました

神岡地区では、東日本大震災の被災地である岩手県大槌町と交流を続けています。今年も7月に全校児童が「手作りうちわ(被災地支援うちわ)」をつくり、夏の暑さを少しでも和らげてほしいという思いを込めてお届けしました。

先日、それに対するお礼のメッセージが届きましたので紹介します。「2014年から続く交流が、大槌町の復興の大きな力になっている」という感謝の言葉もありました。子どもたちの手作りうちわが、大槌町のどこかのご家庭で、大切にに使っていただいていること、とても嬉しく思いました。



お礼のメッセージ

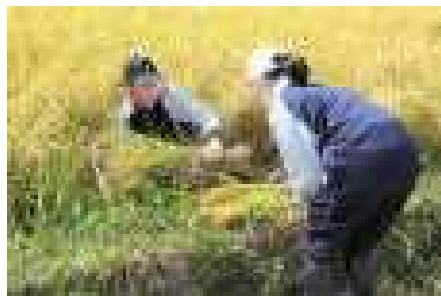
【お礼のメッセージ】

- ◇うちわ、ありがとうございました。私はこのうちわを、暑い日や涼みたい日に使おうと思っています。私は犬を飼っていて、その子は暑がりなので、その子と一緒に使いたいです。
- ◇絵もうまく描いてあって、使ってみたら、たくさん風が来て涼しかったです。これから暑い日が続きそうなので、お互いに体に気を付けて過ごしましょう。
- ◇もらったうちわはきれいな絵で、スイカ、アイス、線香花火が特に上手でした。このうちわを大切に使います。

5年生 稲刈り体験(9/25) 〇〇〇様、JAの皆様 地域ボランティアの皆様 ありがとうございました

今年も、圃場主の〇〇〇様やJA秋田おばこ西部営農センター様、地域ボランティアの皆様のご協力をいただき、稲刈り体験を行うことができました。5月31日に田植えを行ってから約4か月、たわわに実った黄金色のあきたこまちを前に、子どもたちも嬉しそうでした。

稲刈りを終えて子どもたちは、「お米が4か月であんなに生長するなんてすごいと思ったし、お米を使ったいろいろな食べ物を食べてみたいと思いました。」「初めて手作業の稲刈りをやって、分からないことがたくさんありましたが、『土から10cm位のところを上から下に刈る』と教えていただき、無事に稲刈りができました。」と感想を述べていました。この体験が、子どもたちの農業への関心が高まるきっかけになってほしいと思いました。



3年生 フィールドワーク(9/20) 大曲イオンと大曲消防署を訪問しました

3年生が社会科の学習の一環として、「働く人と私たちの暮らし」をテーマに、標記の2か所を訪問させていただきました。大曲イオンでは「消費者の願いにこたえるための様々な工夫」について、大曲消防署では「火災発生時の関係機関との連携や日常の消防士の仕事」について学ぶことができました。子どもたちも、ルールやマナーを守り、真剣な態度で臨んでいました。私たちの日常は、多くの方々を支えられていることを実感する貴重な機会になったと感じました。



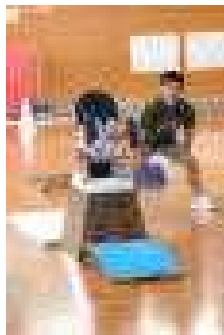
4年生 体育授業サポート（9/15、19）7口の指導者から直接ご指導いただきました

この事業は、秋田県教育委員会が主催し、「スポーツの専門性を有する人材を外部指導者として活用することにより、質の高い授業を展開し、スポーツが好きな児童の育成を図る」ことがねらいです。

本校には、〇〇〇スポーツクラブの〇〇〇〇様が来校し、4年生に跳び箱の授業をしてくださいました。このスポーツクラブでは、未就学児から80歳代までの幅広い年齢層の方がスポーツに親しみ、世界選手権〇〇〇メダリストの〇〇〇〇選手も所属しているとのことでした。

指導を受けた子どもたちは、次のような感想を話してくれました。

- ◇今日の授業で、台上前転をきれいにできるようになりました。両足で氷を割るように踏み切り板を踏むことや、頭や手を手前につくコツを教えてもらったら、上手にできるようになりました。
- ◇台上前転で、最初にマットの上で前転をしてからやったら、上手にできて嬉しかったです。
- ◇今日の授業で、跳び箱がもっと好きになりました。開脚跳びでは、踏み切り板を「氷を割るように両足で踏む」など、分かりやすいアドバイスで、前よりも跳べるようになりました。
- ◇勢いを付けて、踏み切り板に体重をかけて、お尻を高く上げることを心がけたら、開脚跳びや抱え込み跳び、台上前転をすることができました。あと、〇〇先生のバック宙をみて、僕もできるようになりたいと思いました。



キャンで〜ず、和太鼓クラブ 踊りと歌の祭典に出演（9/23）

神岡農村環境改善センターで行われたこの祭典に、Jingujiキャンで〜ずと和太鼓クラブが出演しました。ほとんどの出演者が大人の方でしたが、その中で、子どもたちが衣装を着てステージに上がると、会場の雰囲気が一気に明るくなって、お客様からの拍手も一段と大きく感じました。地域の皆様に、子どもたちの元気な踊りや歌、演奏を見ていただくことができ、とても嬉しく感じました。



神小っ子の活躍

おめでとうございます！

第21回 遊球杯バドミントン大会（主催 横手市バドミントン協会、9/17）

- ◇小学生の部A：優勝 神岡ジュニア4～6年生チーム
- ◇小学生の部B：優勝 神岡ジュニア1～4年生チーム
- ◇小学生の部C：優勝 神岡ジュニア1、2年生チーム